

# 日光市保育施設整備計画

平成28年6月

日光市

# 目 次

第1章	計画策定にあたって	1
1	計画策定の背景及び目的	1
2	計画の位置付け	1
3	計画期間	2
第2章	日光市の現状	3
1	人口及び出生の状況	3
(1)	0歳～5歳	3
(2)	出生数の動向	4
2	保育園・幼稚園児童及び保育施設の状況	5
(1)	児童の状況	5
	①児童数及び入園状況	
	②地域別保育園等の入園状況	
	③地域別保育施設（幼稚園含む）の入園状況	
	④保育施設及び年齢別の入園状況	
(2)	保育施設の状況	8
3	利用者アンケート調査における状況	12
(1)	調査の概要	12
(2)	調査結果の概要	13
	①保育サービスを提供する場所として望ましい周辺環境、立地について	
	②保育サービスの選択要因として重視すること	
	③幼稚園保護者の保育ニーズについて	
第3章	保育施設整備の課題	16
1	現状から見える課題	16
2	日光市公共施設マネジメント計画から見える課題	17
第4章	保育施設整備の基本方針	19
1	施設整備の基本方針	19
2	施設整備の方向性	19
3	地域別保育施設整備の方向性	22

# 第1章 計画策定にあたって

## 1 計画策定の背景及び目的

日光市では、平成27年4月から本格的に施行となった「子ども・子育て支援新制度」への対応を図るほか、近年の子ども・子育てを取り巻く環境の変化等を踏まえ、子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支援するまちづくりを推進するため「イチオシ！ひかり輝く 子育てのまち」を基本理念に掲げ「日光市子ども・子育て支援事業計画」を平成27年3月に策定しました。

この子ども・子育て支援事業計画では、子ども・子育て支援新制度に伴う「幼保一元化」や「地域型保育」※1など幼児教育・保育サービスの充実に関わる様々な施策を展開することとしています。

このような状況の中、施設整備の面においては、現在、多くの公立保育園は老朽化が進行しています。さらに、東日本大震災以降、建物の耐震性にも大きな関心が示されており、働く保護者が安心して預けられる保育環境の整備が求められています。

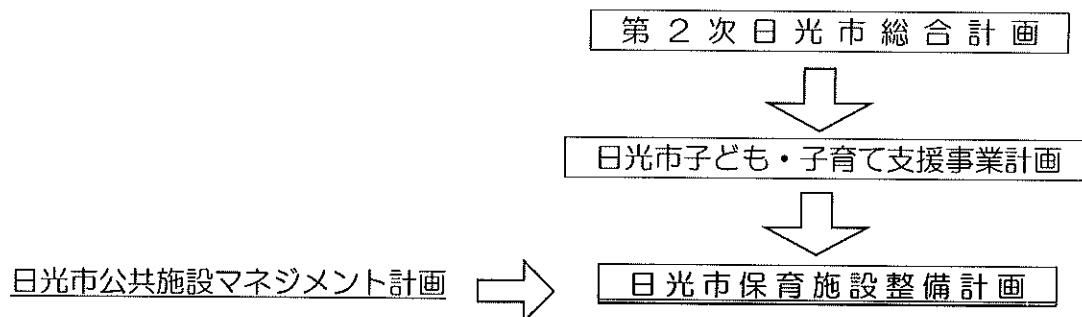
このような多くの課題や、保育を取り巻く社会環境の変化に迅速かつ的確に対応し、計画的な施設整備を進めるため、本市の特性に応じた基本的な方針を定めた「日光市保育施設整備計画」を策定します。

※1 地域型保育とは通常の保育園（原則20人以上）より少人数の単位で、0-2歳の子どもを預かる事業です。特例により3-5歳の子どもを預かることができます。

(①家庭的保育 ②小規模保育 ③事業所内保育 ④居宅訪問型保育の事業があります。)

## 2 計画の位置付け

本計画は、「第2次日光市総合計画」を上位計画とした、「日光市子ども・子育て支援事業計画」を踏まえるとともに、「日光市公共施設マネジメント計画」との整合性を図りながら、本計画の推進により、保育環境の一層の充実を目指すものです。



### 3 計画期間

---

本計画は、将来の保育需要を見据え、中長期的な視点に立って、効果的かつ効率的な保育サービスを提供する体制を整える必要があることから平成28年度から平成37年度までの10年間を計画期間とします。

但し、社会環境等の変化に応じて、計画内容及び計画期間等を適宜見直すものとします。

## 第2章 日光市の現状

### 1 人口及び出生の状況

#### (1) 0歳～5歳

当市における平成27年4月1日現在の0歳～5歳人口は3,200人で、平成23年と比べて468人減少しています。

年齢別にみると、各年ではらつきはあるもののすべての年齢層で減少傾向にあり、特に1～2歳の年齢層については平成23年と比べるとそれぞれ100人以上の減少となっています。

表1.1.1 0～5歳人口の推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
0歳	539 (▲77)	556 (17)	498 (▲58)	455 (▲43)	519 (64)
1歳	567 (▲75)	557 (▲10)	549 (▲8)	510 (▲39)	460 (▲50)
2歳	632 (▲1)	578 (▲54)	570 (▲8)	558 (▲12)	520 (▲38)
3歳	655 (▲20)	627 (▲28)	572 (▲55)	560 (▲12)	570 (10)
4歳	622 (▲45)	637 (15)	633 (▲4)	577 (▲56)	561 (▲16)
5歳	653 (▲72)	619 (▲34)	625 (6)	627 (2)	570 (▲57)
計	3,668 (▲290)	3,574 (▲94)	3,447 (▲127)	3,287 (▲160)	3,200 (▲87)

※ ( ) 内は前年との比較

資料：住民基本台帳（各年4月1日）

## (2) 出生数の動向

当市の平成25年の出生数は488人（男子241人、女子247人）で、年々減少傾向にあります。

また、人口千人あたりの出生率を県平均と比較すると、当市は5.7人で、県平均の7.9人と比べて低い状況です。

表 1.2.1 出生数の推移

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
男	297 (▲45)	295 (▲2)	278 (▲17)	261 (▲17)	241 (▲20)
女	271 (▲25)	278 (7)	272 (▲6)	261 (▲11)	247 (▲14)
合計	568 (▲70)	573 (5)	550 (▲23)	522 (▲28)	488 (▲34)

※ ( ) 内は前年との比較

資料：栃木県人口動態統計

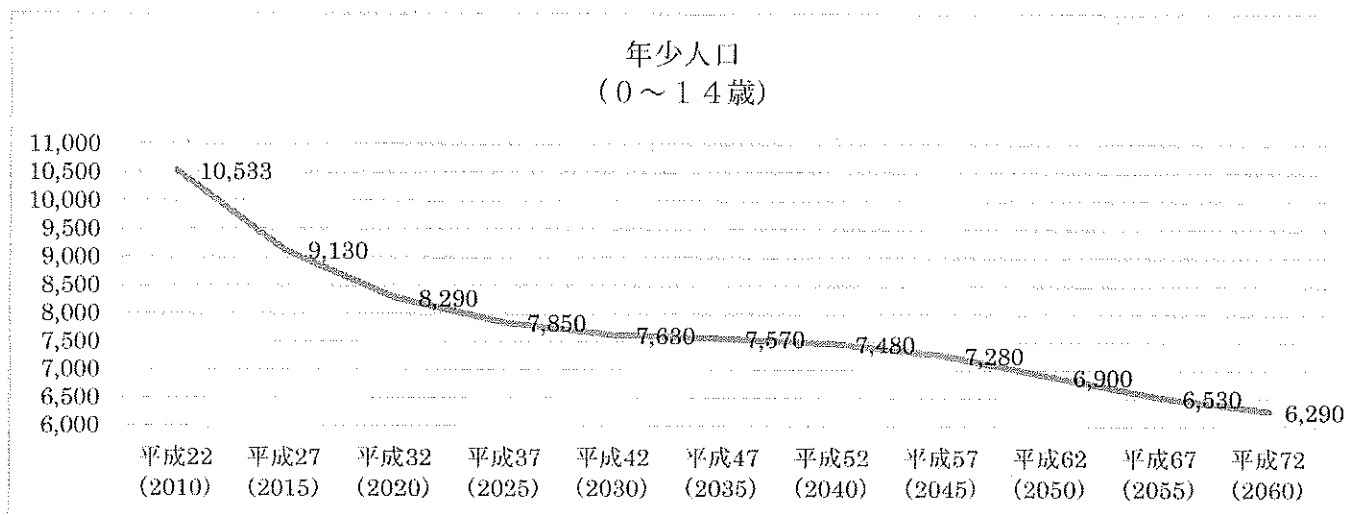
表 1.2.2 人口千人あたりの出生数及び出生率

	栃木県	日光市
出生数	15,588	488
出生率	7.9	5.7

資料：栃木県人口動態統計

なお、平成27年8月に策定した「日光市人口ビジョン」による市の将来展望における年少人口(0～14歳)の長期的な見通しは、次のとおりであり、さらなる減少が見込まれます。

<参考> 日光市人口ビジョンによる年少人口の見通し



## 2 保育園・幼稚園児童及び保育施設の状況

### (1) 児童の状況

#### ① 児童数及び入園状況

平成27年4月1日現在、市内には保育園等が26施設（公立20施設<sup>\*1</sup>、私立6施設）あり、定員数が1,771人に対して、園児数は1,403人で、入園率は79.2%となっています。

また、市内には幼稚園が8施設（私立8施設）あり、定員数1,470人に対して、園児数は685人となっており、入園率は46.6%となっています。

<sup>\*1</sup> 公立20施設の内訳は、保育園16施設、認定こども園1施設、保育型児童館3館。

（認定こども園とは、幼稚園と保育所の機能や特徴をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設です。）

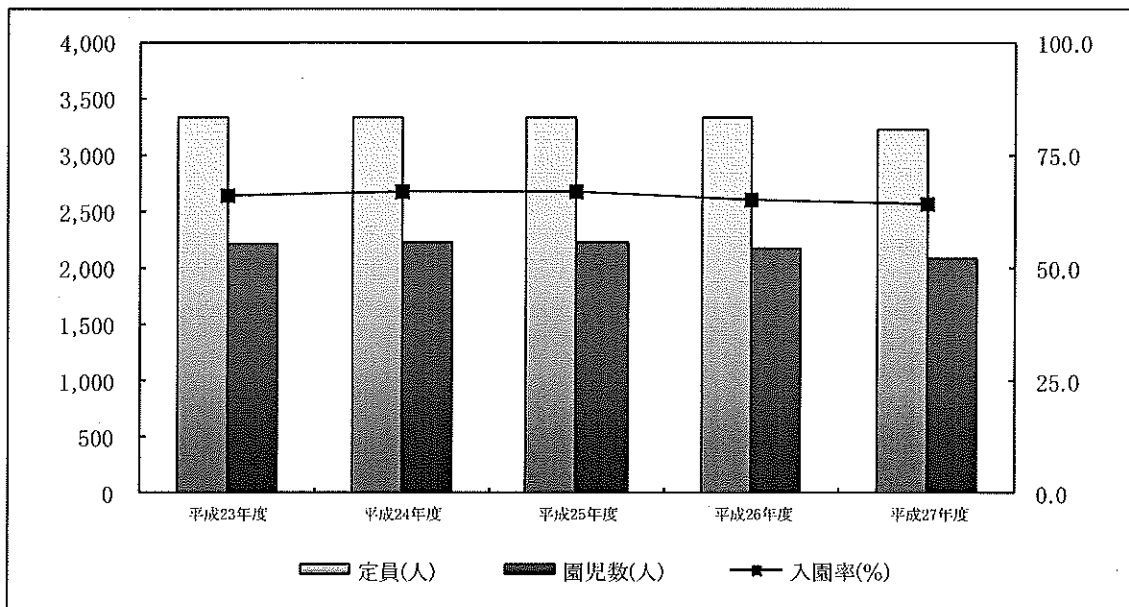
表 2.1.1-1 児童数の推移

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
保育園	施設数(個所)	25	25	25	25	26
	定員(人)	1,815	1,815	1,815	1,820	1,771
	園児数(人)	1,496	1,537	1,514	1,453	1,403
	入園率(%)	82.4	84.7	83.4	79.8	79.2
幼稚園	施設数(個所)	9	9	9	9	8
	定員(人)	1,520	1,520	1,520	1,520	1,470
	園児数(人)	722	700	702	721	685
	入園率(%)	47.5	46.1	46.2	47.4	46.6
合計	施設数(個所)	34	34	34	34	34
	定員(人)	3,335	3,335	3,335	3,340	3,241
	園児数(人)	2,218	2,237	2,216	2,174	2,088
	入園率(%)	66.5	67.1	66.4	65.1	64.4
学齢前児童数(人)		3,668	3,574	3,447	3,287	3,200

※ 各年4月1日現在

資料：子育て支援課

表 2.1.1-2 保育園・幼稚園の定員及び園児数の合計の推移



②地域別保育園等（保育園・認定こども園・保育型児童館）の入園状況

地域別の入園率は、今市地域では95%を越えているものの、その他の地域では60%を下回っている状況です。特に栗山地域においては20%を下回っている状況となっており、地域によってばらつきがあることがわかります。

表 2.1.2 地域別保育園等の入園率

平成 27 年 4 月 1 日現在

地域/地区	園児数(人)							定員 (人)	入園率 (%)	施設数 (園)
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計			
全体	55	174	245	302	305	322	1,403	1,771	79.2	26
今市	43	131	188	224	242	251	1,079	1,125	95.9	13
今市	12	43	73	68	78	81	355	375	94.7	5
落合	3	15	18	28	25	20	109	135	80.7	2
豊岡	10	21	29	42	49	45	196	220	89.1	2
大沢	18	52	68	78	86	95	397	350	113.4	3
塩野室	-	-	-	8	4	10	22	45	48.9	1
日光	7	22	27	37	22	32	147	264	55.7	5
藤原	4	16	25	31	36	29	141	274	51.5	5
足尾	1	5	5	8	3	8	30	70	42.9	1
栗山	-	0	0	2	2	2	6	38	15.8	2

③地域別保育施設（幼稚園含む）の入園状況

②に幼稚園を含めた場合の入園率は64.4%となっています。地域別で見ても、今市地域は80%に近いものの、その他の地域では50%を下回っている状況です。これは、近年の低年齢児からの保育ニーズや母親の就労の増加により、幼稚園に比べ保育園への入所が増加傾向にあることが要因のひとつとして考えられます。

表 2.1.3 地域別保育施設の入園率

平成 27 年 4 月 1 日現在

地域/地区	園児数(人)							定員 (人)	入園率 (%)	施設数 (園)
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計			
全体	55	174	245	524	539	551	2,088	3,241	64.4	34
今市	43	131	188	404	425	428	1,619	2,070	78.2	17
今市	12	43	73	208	210	216	762	1,180	64.6	8
落合	3	15	18	68	76	62	242	275	88.0	3
豊岡	10	21	29	42	49	45	196	220	89.1	2
大沢	18	52	68	78	86	95	397	350	113.4	3
塩野室	-	-	-	8	4	10	22	45	48.9	1
日光	7	22	27	69	58	69	252	649	38.8	8
藤原	4	16	25	41	51	44	181	414	43.7	6
足尾	1	5	5	8	3	8	30	70	42.9	1
栗山	-	0	0	2	2	2	6	38	15.8	2



④保育施設及び年齢別の入園状況

表 2.1.4 保育施設別並びに年齢別の入園状況

平成 27 年 4 月 1 日現在

番号	名称	地域	種別	園児数(人)							定員(人)	入所率(%)	対象年齢	備考
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計				
1	並木保育園	今市	公立	7	5	16	14	11	16	69	90	76.7	0～5歳児	
2	せせらぎ保育園			1	5	8	14	16	13	57	70	81.4	0～5歳児	
3	原町みどり保育園			-	4	11	8	9	10	42	45	93.3	1～5歳児	
4	しばやま保育園			4	7	17	17	17	19	81	80	101.3	0～5歳児	
5	宝珠保育園		1	17	21	14	24	24	101	90	112.2	0～5歳児		
6	杉の子保育園		3	12	17	18	18	18	86	80	107.5	0～5歳児		
7	明神保育園		3	15	18	20	22	16	94	90	104.4	0～5歳児		
8	芹沼保育園		10	21	29	36	40	35	171	160	106.9	0～5歳児		
9	大沢保育園		6	22	24	30	37	39	158	150	105.3	0～5歳児		
10	さかえ保育園		8	23	27	31	32	37	158	120	131.7	0～5歳児		
11	落合児童館		-	-	-	8	3	4	15	45	33.3	満 3～5歳児		
12	豊岡児童館		-	-	-	6	9	10	25	60	41.7	満 3～5歳児		
13	塩野室児童館		-	-	-	8	4	10	22	45	48.9	満 3～5歳児		
14	日光保育園	日光	公立	2	8	11	14	9	8	52	90	57.8	0～5歳児	
15	清滝保育園			-	4	3	3	4	7	21	45	46.7	1～5歳児	
16	所野保育園			5	8	11	15	9	10	58	80	72.5	0～5歳児	
17	小来川保育園			-	2	2	2	0	6	12	30	40.0	1～5歳児	
18	中宮祠保育園			-	0	0	3	0	1	4	19	21.1	1～5歳児	
19	藤原保育園	藤原	公立	-	3	1	5	6	3	18	45	40.0	1～5歳児	
20	鬼怒川保育園			4	4	8	8	9	7	40	60	66.7	0～5歳児	
21	下原保育園			0	7	10	15	15	16	63	90	70.0	0～5歳児	
22	高德保育園			-	2	5	2	6	2	17	60	28.3	1～5歳児	
23	三依保育園			-	-	1	1	0	1	3	19	15.8	2～5歳児	
24	足尾認定こども園	足尾	公立	1	5	5	8	2	8	29	60	48.3	0～5歳児	保育部分
				-	-	-	0	1	0	1	10	10.0	3～5歳児	幼稚園部分
25	栗山中央保育園	栗山	公立	-	0	0	0	0	0	0	19	0.0	1～5歳児	
26	湯西川保育園			-	0	0	2	2	2	6	19	31.6	1～5歳児	
	26 施設			55	174	245	302	305	322	1,403	1,771	79.2		
1	今市幼稚園	今市	私立	-	-	-	54	45	51	150	245	61.2	満 3～5歳児	
2	今市中央幼稚園			-	-	-	63	71	58	192	420	45.7	満 3～5歳児	
3	聖ヨゼフ幼稚園			-	-	-	23	16	26	65	140	46.4	満 3～5歳児	
4	長畑幼稚園			-	-	-	40	51	42	133	140	95.0	満 3～5歳児	
5	清滝幼稚園	日光	私立	-	-	-	11	13	8	32	105	30.5	満 3～5歳児	
6	日光幼稚園			-	-	-	13	20	16	49	175	28.0	満 3～5歳児	
7	聖アントニオ幼稚園			-	-	-	8	3	13	24	105	22.9	満 3～5歳児	
8	きぬ川幼稚園	藤原	私立	-	-	-	10	15	15	40	140	28.6	満 3～5歳児	
	8 施設			-	-	-	222	234	229	685	1,470	46.6		
合計	34 施設			55	174	245	524	539	551	2,088	3,241	64.4		

今市地域の保育施設数は保育園 13 施設（公立 4 施設、私立 6 施設、公立保育型児童館 3 施設）、幼稚園 4 施設（私立 4 施設）の計 17 施設です。保育需要は高く、約半数が入園率 100%を上回っています。ただし、幼稚園の入園率は全体的に低い状況となっています。

日光地域の保育施設は保育園 5 施設（公立 5 施設）、幼稚園 3 施設（私立 3 施設）の計 8 施設あります。そのうち、入園率が 70%を上回っているのは所野保育園のみであり、保育需要の低下が見られます。

藤原地域の保育施設は保育園 5 施設（公立 5 施設）、幼稚園 1 施設（私立 1 施設）の計 6 施設あります。そのうち、入所率が 70%を上回っているのは下原保育園のみであり、保育需要の低下が見られます。

足尾地域の保育施設は認定こども園 1 施設（公立 1 施設）のみで、入園率は 43%であり、保育需要は低い状態です。

栗山地域の保育施設は保育所 2 施設（公立 2 施設）のみで、入園率は低く、保育需要が低下しています。

## （2）保育施設の状況

日光市には、公立の保育施設 20 施設（うち 1 施設は賃貸借）があります。

公立の保育施設の整備状況は、昭和 56 年 5 月 31 日以前（以降、昭和 56 年以前という）に建築された旧耐震基準の建物が 11 施設、昭和 56 年 6 月 1 日以降に建設された新耐震基準の建物が 8 施設となっています。

そのため、市では旧耐震基準の建物について、木造については一般診断法、鉄骨造・コンクリートブロック造については簡易耐震診断を平成 23 年度に実施しましたが、いずれの建築物に対しても本検査では安全性が確認できないため、詳細な調査を伴う精密診断の実施をしなければならないと診断されました。ただし、簡易耐震診断においてコンクリートブロック造につきましても、詳細な診断を行い「補強が必要」という結果が出た場合でも、コンクリートブロックに対して効果的な補強工事（アンカー筋が効かない等）ができないという結果となりました。

また、建築後の経過年数が法定耐用年数を過ぎている施設が 11 施設あり、早急な耐震化又は老朽化対策が必要となっています。

新耐震基準の建物でも建築後 20 年を経過している建物や、経過年数が法定耐用年数に近づいてきている建物もあり、今後、計画的な老朽化対策の検討が必要となっています。

比較的新しい施設においても、多様化する保育ニーズに対応していない施設もあり、計画的な改修や、効率の良い設備の導入の検討が必要となっています。

さらに、通園する園児の送迎については、ほとんどが保護者による車での送迎となっていますが、多くの施設の進入路は狭く、駐車場の確保も難しい状況となっています。

なお、「日光市公共施設マネジメント白書」によると、19 施設のうち、床面積当たりの維持管理費が平均値に比べ 4 割以上高くなっている施設が 7 施設（旧耐震基準 5 施設、新耐震基準 2 施設）あります。また、「日光市公共施設マネジメント計画」における、建物劣化状況の評価では、「重要度の高い複数の部位で劣化が進行し、早急な対応が必要」という施設が 11 施設あり、今後早急な検証が必要という結果が出ています。

表 2.2.1 公立保育園（認定こども園・保育型児童館含む）の施設状況

平成28年04月01日 現在

No.	施設名	地域	旧地区	構造	延べ面積 (㎡)	建築年 (年度)	経過 年数	法定 耐用 年数
1	並木保育園	今市	今市	コンクリート ブロック造	550.7	昭和50	40	41
2	せせらぎ保育園			木造	365.7	昭和46	44	24
3	原町みどり保育園			木造	413.2	昭和48	42	24
4	落合児童館		落合	木造	633.8	平成10	17	24
5	豊岡児童館		豊岡	木造	411.4	平成4	23	24
6	しばやま保育園		大沢	木造	510.1	昭和49	41	24
7	塩野室児童館		塩野室	木造	439.7	平成5	22	24
8	日光保育園	日光		鉄骨造	655.7	昭和61	29	38
9	清滝保育園			木造	321.0	昭和44	46	24
10	所野保育園			鉄骨造	676.0	平成11	16	38
11	小来川保育園			木造	199.0	昭和62	28	24
12	中宮祠保育園※			木造	363.6	平成7	21	24
13	藤原保育園	藤原		木造	257.3	昭和35	55	24
14	鬼怒川保育園			木造	338.0	昭和41	49	24
15	下原保育園			鉄骨造	549.1	昭和55	35	38
16	高德保育園			木造	355.1	昭和50	40	24
17	三依保育園			木造	256.0	昭和42	48	24
18	足尾認定こども園	足尾		木造	971.8	平成7	20	24
19	栗山中央保育園	栗山		木造	292.0	昭和48	42	24
20	湯西川保育園			木造	360.0	平成元	26	24

※ 中宮祠保育園は賃貸借

また、5地域別の保育サービスの概要については、下表に示すとおりです。

特別保育については、一時保育を6施設で実施しており、休日保育・病後児保育についてもそれぞれ2施設で実施しています。

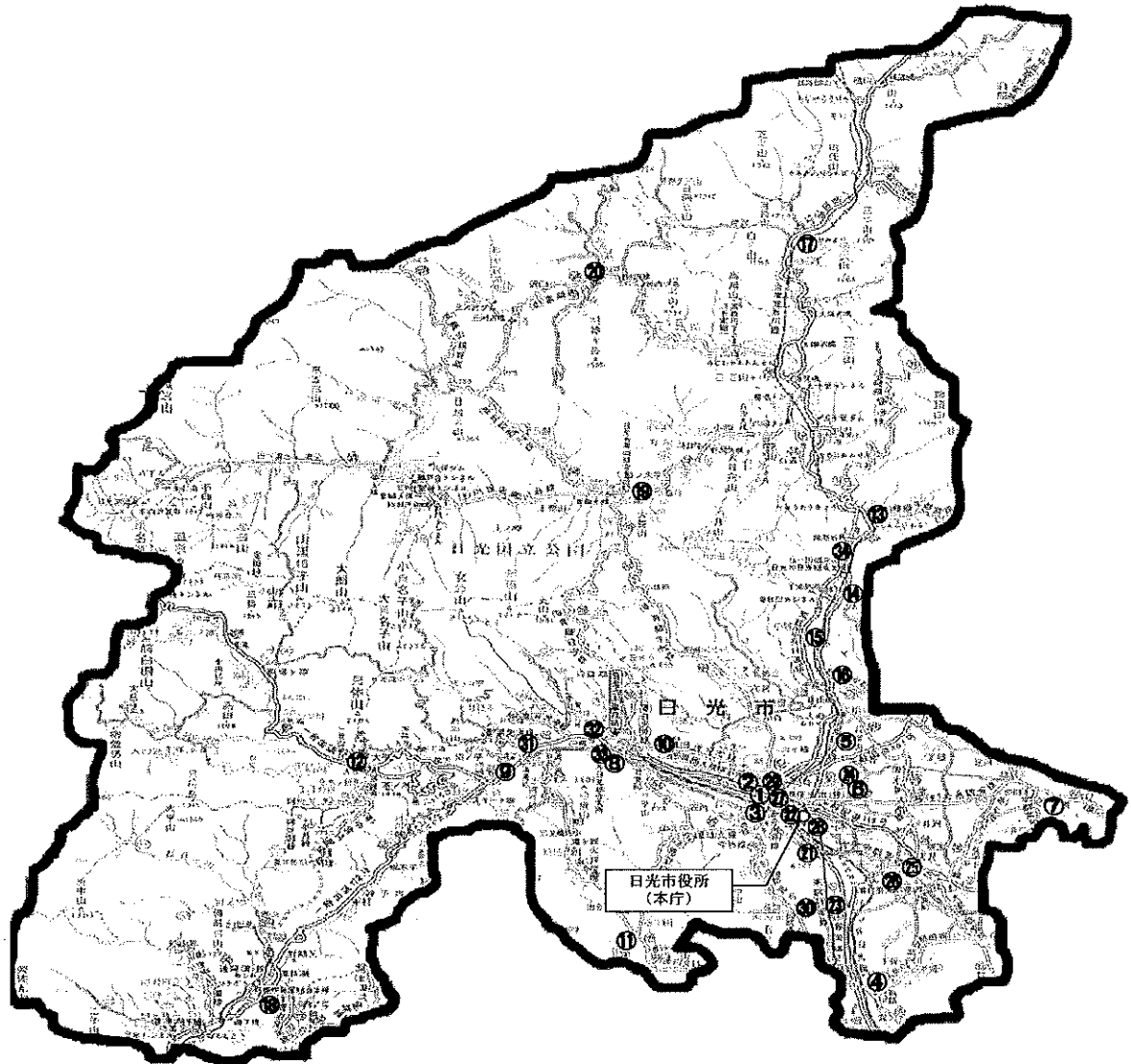
表 2.2.2 地域別の保育園の概要（認定こども園・保育型児童館含む）

施設名	所在地	地域名	種別	定員	保育サービスの内容				
					延長	乳児	一時	病後児	休日
並木保育園	日光市瀬川1316-1	今市	公立	90	●	●	●		
せせらぎ保育園	日光市瀬尾81-2			70	●				
原町みどり保育園	日光市平ヶ崎132-2			45	●				
しばやま保育園	日光市蒔沢540-3			80	●	●			
落合児童館	日光市文抜町3-8			45					
豊岡児童館	日光市大桑町120-1			60					
塩野室児童館	日光市小林2453-2			45					
大沢保育園	日光市大沢町62-1		150	●	●	●			
芹沼保育園	日光市芹沼892		160	●	●				
さかえ保育園	日光市木和田島1373-72		120	●	●			●	
明神保育園	日光市明神274-1		90	●	●		●		
宝珠保育園	日光市土沢1216		90	●		●			
杉の子保育園	日光市今市72-1		80	●	●				
日光保育園	日光市御幸町6-1	日光	公立	90	●	●			
清滝保育園	日光市清滝2-9-37			45	●		●		
所野保育園	日光市所野689-8			80	●	●	●	●	
小来川保育園	日光市中小来川2612-2			30					
中宮祠保育園	日光市中宮祠2478-1			19					
藤原保育園	日光市藤原419	藤原	公立	45					
鬼怒川保育園	日光市鬼怒川温泉大原988-2			60	●	●			
下原保育園	日光市鬼怒川温泉大原2			90	●	●	●		●
高德保育園	日光市高德569			60	●				
三依保育園	日光市中三依3-2-1			19					
足尾認定こども園	保育部分	日光市足尾町赤沢6-5	足尾	公立	60	●	●		
	幼稚園部分				10				
湯西川保育園	日光市湯西川597-3	栗山	公立	19					
栗山中央保育園	日光市日蔭557			19					

※へき地保育所とは、交通条件が不便な山間地域等にあり、保育の必要性の有無に関わらず児童の預かりができる施設です。

※小規模保育所とは、少人数（定員6人～19人）を対象に、家庭的な雰囲気のもと、きめ細かな保育を行う施設です。

## 保育園・幼稚園の位置図（日光市）



- |            |            |           |             |
|------------|------------|-----------|-------------|
| ① 並木保育園    | ⑩ 所野保育園    | ⑲ 栗山中央保育園 | ⑳ 今市中央幼稚園   |
| ② せせらぎ保育園  | ⑪ 小来川保育園   | ⑳ 湯西川保育園  | ㉑ 聖ヨゼフ幼稚園   |
| ③ 原町みどり保育園 | ⑫ 中宮祠保育園   | ㉑ 宝珠保育園   | ⑳ 長畑幼稚園     |
| ④ 落合児童館    | ⑬ 藤原保育園    | ㉒ 杉の子保育園  | ㉑ 清滝幼稚園     |
| ⑤ 豊岡児童館    | ⑭ 鬼怒川保育園   | ㉓ 明神保育園   | ㉒ 日光幼稚園     |
| ⑥ しばやま保育園  | ⑮ 下原保育園    | ㉔ 芹沼保育園   | ㉓ 聖アントニオ幼稚園 |
| ⑦ 塩野室児童館   | ⑯ 高徳保育園    | ㉕ 大沢保育園   | ㉔ きぬ川幼稚園    |
| ⑧ 日光保育園    | ⑰ 三依保育園    | ㉖ さかえ保育園  |             |
| ⑨ 清滝保育園    | ⑱ 足尾認定こども園 | ㉗ 今市幼稚園   |             |

### 3 利用者アンケート調査における状況

---

#### (1) 調査の概要

調査実施期間	平成 25 年 5 月上旬から 5 月 31 日まで
調査票の配布数	保育園保護者：1,246 通 幼稚園保護者： 666 通 合 計：1,912 通
回収数及び回収率	保育園保護者： 859 通 (回収率 68.94%) 幼稚園保護者： 522 通 (回収率 78.83%) 合 計：1,381 通 (回収率 72.23%)

(2) 調査結果の概要

①保育サービスを提供する場所として望ましい周辺環境、立地について

【保育園保護者】

回	答	日光市 全域	今市 地域	日光 地域	藤原 地域	足尾 地域	栗山 地域
1)	多くの緑や自然に囲まれた環境が望ましい	1 59.9%	1 60.6%	1 65.7%	1 52.1%	1 50.0%	1 55.6%
2)	車通りの多くない住宅地(自宅の近く)の方が安全	3 12.7%	2 12.7%		2 17.4%	3 16.7%	
3)	職場の近くの方が、便利かつ子どもが近くにいる安心感			3 11.1%		2 20.8%	2 22.2%
4)	商業施設や病院等が付近にあると便利						
5)	立地には特にこだわりはない	2 12.9%	3 12.6%	2 13.1%	3 13.7%		2 22.2%

※上段は回答が多かった順番

【幼稚園保護者】

回	答	日光市 全域	今市 地域	日光 地域	藤原 地域
1)	多くの緑や自然に囲まれた環境が望ましい	1 52.4%	1 51.0%	1 61.0%	1 45.5%
2)	車通りの多くない住宅地(自宅の近く)の方が安全				2 21.2%
3)	職場の近くの方が、便利かつ子どもが近くにいる安心感	3 14.5%	3 14.4%	2 15.6%	
4)	商業施設や病院等が付近にあると便利				
5)	立地には特にこだわりはない	2 16.6%	2 17.9%	3 10.4%	3 18.2%

保育サービスを提供する場所として望ましい周辺環境については、自然に囲まれた環境や、車通りが多くないという安全性、また子どもが近くにいるという安心感が求められています。

②保育サービスの選択要因として重視すること

【保育園保護者】

回	答	日光市 全域	今市 地域	日光 地域	藤原 地域	足尾 地域	栗山 地域
1)	自宅から近いこと	1 30.9%	1 30.4%	2 30.4%	1 30.4%	3 20.8%	1 44.4%
2)	自宅や職場との位置関係	2 27.0%	3 25.3%	1 38.1%	2 25.2%	1 35.4%	2 22.2%
3)	保育サービスの提供時間					2 22.9%	
4)	自然の多い環境						
5)	保育サービスの内容	3 23.4%	2 26.2%	3 18.0%	3 19.2%		2 22.2%

【幼稚園保護者】

回	答	日光市 全域	今市 地域	日光 地域	藤原 地域
1)	自宅から近いこと	2 30.9%	2 23.2%	2 27.0%	1 30.3%
2)	自宅や職場との位置関係				
3)	保育サービスの提供時間	3 18.0%	3 18.5%	3 14.7%	3 18.5%
4)	自然の多い環境				
5)	保育サービスの内容	1 39.6%	1 42.4%	1 32.3%	1 30.3%

保育園保護者及び幼稚園保護者が保育サービスの選択要因として重視することは、保育園保護者では「自宅から近いこと」や「自宅・職場との位置関係」という意見が最も多く、次いで「保育サービスの内容」を重視しています。

幼稚園保護者では、「保育サービスの内容」が最も多く、次いで「自宅から近いこと」という意見が多くなっており、その次には「保育サービスの提供時間」を重視しています。



③幼稚園保護者の保育ニーズについて

問 幼稚園の預かり保育を利用していますか

回 答		日光市 全域	今 市 地域	日 光 地域	藤 原 地域
1)	利用している	1 38.6%	2 33.8%	1 49.4%	1 67.6%
2)	いずれ利用したい	2 35.7%	1 36.8%	2 33.3%	2 29.4%
3)	今後とも利用するつもりはない	3 25.6%	3 29.4%	3 17.2%	3 2.9%

幼稚園の預かり保育の利用状況については、「利用している」が38.6%となっており、「いずれ利用したい」は35.7%となっていて、預かり保育が増える可能性があります。

問 今後の就労希望について

回 答		日光市 全域	今 市 地域	日 光 地域	藤 原 地域
1)	現在共働きをしている	2 28.7%	2 27.2%	2 29.3%	2 44.1%
2)	いずれは共働きをしたい	1 56.4%	1 56.0%	1 59.8%	1 52.9%
3)	共働きをしたいと思わない	3 11.4%	3 12.7%	3 9.8%	
4)	他				3 2.9%

現在の就労状況及び就労希望については、「現在共働きをしている」が28.7%となっており、「いずれ共働きをしたい」は56.4%となっていて、今後共働きをする保護者が増える可能性があります。

## 第3章 保育施設整備の課題

### 1 現状から見える課題

当市における人口の推移・保育施設の状況やアンケート調査結果等から保育施設整備の課題を整理すると、次のようになります。

- ・ 公立保育施設の老朽化

公立の保育施設は、昭和56年以前の建築または法定耐用年数を経過した施設が多く、築後30年以上経過した施設が過半数を占めています。これらの施設は、建設当時の保育水準に対応した施設や敷地のため、現在の保育水準に必要な設備を整備するには施設配置や敷地面積に限界があります。現在の施設では、乳児保育等への対応が不十分であり、調乳室等の整備や特別保育など新たな保育ニーズに対応できない状況です。また、設備においても老朽化が進んでおり、早急に整備をする必要があります。

- ・ 適正な保育施設数の確保

0～5歳の人口及び出生の状況を見ると、全ての年齢層で減少傾向にあることから、年齢に応じた保育の必要性和集団生活を学ぶための適正な規模の定員数及び施設数を検討する必要があります。

- ・ 地域特性への対応及び良好な保育環境の確保

当市は広大な面積を有しており、保育ニーズの多い地域と少ない地域に大きな差が見られます。しかし、子どもが減少している地域においても身近な地域での保育機能を確保する必要があります。

また、就園している園児の送迎は、保護者の就労環境や地域の環境などから車での送迎が多いため、公共施設や主要道路等からのアクセス道路の確保や駐車場の確保も含めた地域の特性に応じた対応が必要となっています。

- ・ 多様化する保育ニーズへの対応

当市では、休日保育、延長保育、乳児保育、一時保育、病後児保育など多様化する保育ニーズに対応するため、保育サービスの充実や環境整備を図っています。今後も施設整備の面においても多様化する保育サービスへの対応が必要となっています。

## 2 日光市公共施設マネジメント計画から見える課題

### (1) 人口状況

日光市の人口は、既に減少傾向にあります。平成 22 年からの 20 年間では、約 26% 減と推測され、これまでに経験したことのないスピードで減少していくことが予測されます。また、年少人口及び生産年齢人口が減少し、高齢者人口が急速に増加する傾向が顕著になり、高齢者人口の比率は、平成 42(2030)年には 38%になると予想されます。

人口減少に歯止めがかからず、働き手が減り、超高齢社会が進むことで、税収減と扶助費の増加に繋がります。

#### 《各地域の人口動向》

地域別の将来人口予測では、全ての地域で人口が減少し、少子高齢化が進行する点は共通していますが、人口規模や地域の特性により各地域によって人口動向が大きく異なります。

特に、過疎地域に指定されている足尾地域と栗山地域では、少子高齢化が著しく、人口減少が加速しています。

このため、地域によって、人口動態の状況が大きく異なることから、地域の実情を踏まえた検討が必要となります。

### (2) 財政状況

今後は歳入のうち、最も大きな割合を占めている市税が、生産年齢人口の減少とともに減額する見込みです。また、合併による特例措置制度についても平成 28 年度から段階的に削減されます。一方で、高齢者人口の増加によって扶助費が大幅に増加し、投資的な経費の大幅な削減は避けられない状況です。

歳入の減少と歳出の増加により財政がもたなくなり、歳入の範囲内で使うお金の配分を変えていかなければなりません。

### (3) 投資的経費の今後の予測

日光市の財政見通し上、投資的経費（普通建設事業費）は平成 26 年の 90 億円から平成 32 年には 45 億円と段階的に減少し、平成 26 年と比較すると 50% 減少する見込みです。また、平成 33 年度以降では約 35 億円になります。投資的経費には、インフラ（道路・橋りょう）の維持、更新費用も含むため、公共施設の立替えや改修に使えるお金は年額 25.8 億円になります。

このため、既存の公共施設の維持更新に必要な多額の費用は確保できない状況です。

### (4) 保有施設の状況

日光市が保有する公共施設の延床面積は 53.6 万㎡で市民 1 人当たりの施設の保有量は全国平均の 1.8 倍となっています。また、築 30 年以上経過している施設の割合は全体の 42% ですが、今後 10 年間に 71% にまで達し、急速に建物の老朽化が進行することになります。

市民が安心して公共施設サービスを受けられるように、早急な耐震安全性の確保が必要です。また、老朽化が進む公共施設を過大に保有しており、今後施設の更新時期が集中します。

第3章の「保育施設整備の課題」と「日光市公共施設マネジメント計画」の課題を踏まえると、公立保育園の老朽化が進む中、将来の人口動態や、保育ニーズを見据えながら適正な保育施設の規模と配置や民間活力の導入など効率的な運営を検討する必要があります。

その際には、多様化する保育サービスの対応や地域特性への配慮など、子育て機能の充実・強化と施設の再編を一体的に進めることが求められています。

## 第4章 保育施設整備の基本方針

---

日光市は、「第2次日光市総合計画」の中で「人口減少対策～SUKIDESU（好きです）日光～」をまちづくりの重点施策として位置づけ、「少子高齢化対策」を柱の1つとして、「育てる日光」、「産む日光」の施策を推進することとしています。

また、「日光市子ども・子育て支援事業計画」においても、「イチオシ！ひかり輝く 子育てのまち」を基本理念として、将来を担う子どもたちの健やかな成長と、安心して子どもを産み育てる環境を、市民全体で、“こころ”を持って創りあげ、日光市で家庭を築き、子どもを産み育てたいと願う人々の思いをかなえる社会の実現に向け、各種取り組みを展開しています。これらの計画には、幼児教育・保育サービスの充実を図るため、「保育施設の整備」「地域型保育」「幼保一元化推進」を位置付けています。

さらに、「日光市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、基本目標の1つを“若い世代の「結婚・出産・子育て」に対する希望をかなえる”とし、「子ども・子育て」の戦略の中で「幼児教育・保育サービスの充実と質の向上」や「地域で支える環境づくり」を推進することとしています。

### 1 施設整備の基本方針

---

本計画においては、老朽化した保育施設の整備と合わせて、保育を取り巻く社会環境の変化や多様化する保育ニーズに対応した施設整備を促進します。また、地域の特性に配慮したうえで計画的に推進します。

なお、施設の整備にあたっては、次世代の負担を減らすため適正な施設整備と効率的な施設運営が必要です。「日光市公共施設マネジメント計画」の基本方針である「コストを圧縮する」「ハコモノを減らす」「サービスの適正化を図る」の実現のため、必要十分な保育サービスの量と質を確保し、保護者や地域への不安解消に努めます。また、地域全体で子育てが行えるように、公立保育園と民間保育園等が協働し、民間保育園や認定こども園の整備・拡充を促していくこととします。

### 2 施設整備の方向性

---

#### ・ 良好な保育環境の整備

保育施設の整備にあたっては新たな保育サービスの提供を可能とするための良好な保育環境の確保が必要です。保護者や地域の生活実態、意向を十分に踏まえ、乳児保育や病後児保育など多様化する保育ニーズに対応した施設整備をすることにより、保育サービスの充実を図ります。

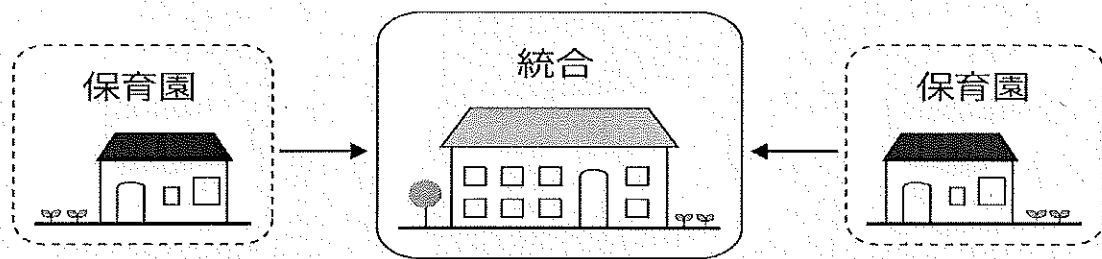
また、利用者の利便性の向上のため公共施設や主要道路等からのアクセス道路の確保、送迎用の駐車場など施設の整備を進めます。

- 計画的な保育施設の整備

公立の保育施設の多くは老朽化による傷みが生じており、子どもたちの安全性の確保や保育サービスの充実に支障をきたす恐れがあるため、現状の建物で運営を継続する施設については計画的な耐震性の強化や設備の改修などを進めます。

公立の保育施設は、施設の改修や改築に合わせて、新たな保育ニーズへの対応や適正な規模の児童数を確保するため施設の集約化を検討します。

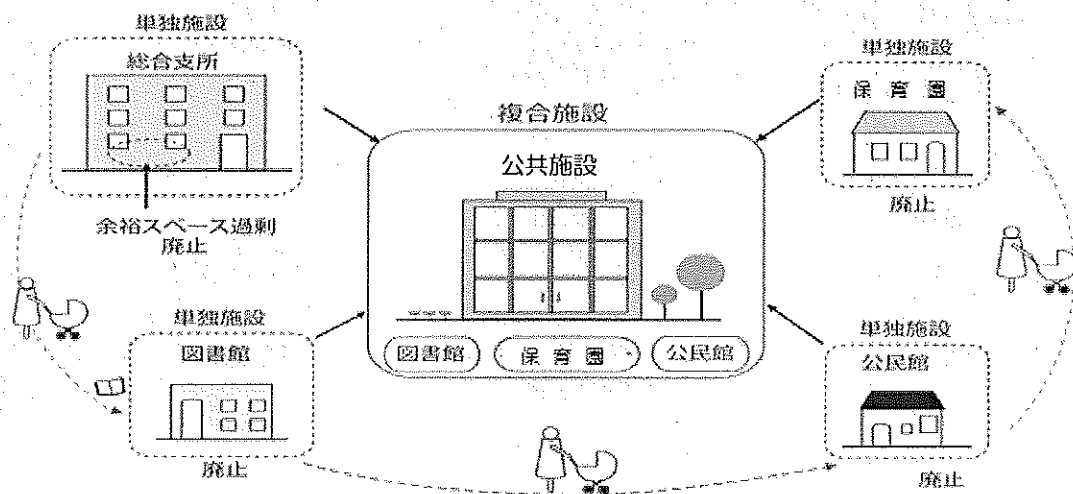
なお、施設の集約化による整備については、子どもの保護者や地域に対して事前の周知や十分な説明を実施し、保護者や地域住民の不安解消に努めます。



- 地域特性に対応した保育施設の整備

当市は市域面積が広く、地域（地区）ごとの保育需要等の状況に差が見られます。

子どもが減少している地域においても、子ども・子育て支援新制度の「地域型保育」などの活用や他の公共施設等との多機能化による地域特性に配慮した整備を進め、身近な地域での保育機能を確保します。



- 民間活力の導入

多様化する保育ニーズに対応した施設整備及び保育サービスの充実を図りながら、より効率的・効果的な保育所運営を行うためには、公立保育園と私立保育園等民間事業者の役割を踏まえ、多種多様な特色ある保育サービスを柔軟に提供できる民間事業者の活力は必要不可欠なものとなっています。

私立保育園等民間事業者の動向を把握し、公立保育園の民営化を視野に入れた運営体制の検討を進めます。

また、子ども・子育て支援新制度等国の保育施策を見据え、私立幼稚園の認定こども園への移行にむけて、施設の整備・拡充を促します。

### 3 地域別施設整備の方向性

---

地域別整備の方向性を次のよう定めました。

藤原地域については、地域の代表による検討委員会からの報告書を踏まえ方向性を定めました。

その他の地域の具体的な施設整備については、子どもの保護者、各地域・各地区の市民の意見を取り入れ理解を得たうえで推進していきます。

#### (1) 今市地域

今市地域の公立保育園は、4園のすべてが施設の老朽化への対応が必要な状況にあります。

整備にあたっては、利用者の駐車場の確保や通勤ルートをはじめとする利便性、児童の安全面などを条件に保護者や地域の意向を踏まえ検討します。

今市地域は全体に保育需要が高く、民間の保育園や幼稚園が数多く運営されています。

子ども・子育て支援新制度に伴う幼稚園の認定こども園への移行や、民間保育園の動向を踏まえながら、民間活力の導入を視野に、施設の再配置や定員についての検討を行います。

また、3つの保育型児童館（落合、豊岡、塩野室）のあり方についても検討を行います。

#### (2) 日光地域

小来川保育園は、他の保育施設と離れた地区にあること、また、へき地保育所として保育の必要性の有無に関わらず児童の預かりができる機能を有することから、近隣公共施設との複合化による整備を検討していきます。

平成27年度に開設した中宮祠保育園は、他の保育施設と離れた地区にあることから、保育需要の動向を注視しながら、新制度による「地域型保育」として、現状の施設において運営を行います。

その他、施設の老朽化による対応が必要な施設については、新制度に伴う幼稚園の認定こども園への移行を踏まえながら、民間活力の導入を視野に入れた検討を行います。

また、早急な耐震化または老朽化対策が必要のない施設については、保育需要の動向を踏まえながら、民間活力の導入を視野に入れた運営方法の見直しを行います。



### (3) 藤原地域

藤原保育園、鬼怒川保育園は、特に老朽化が著しいため、既存の小学校区を基本とし、藤原保育園と鬼怒川保育園を統合した保育園を新たに整備することとします。

新たに建設する候補地は、子育て関連施設（鬼怒川児童館・鬼怒川親子ふれあい広場）の整備も含め「藤原保健センター跡地等」とします。

また、次世代の負担を減らす適正な施設整備を行うために、民間活力を導入した運営体制の検討を進めます。

高德保育園は、特に老朽化が著しいため、既存の小学校区を基本とし、下原保育園と高德保育園を統合した保育園を新たに整備することとします。

新たに建設する候補地は、「藤原高齢者福祉センター跡地」とします。

また、藤原・鬼怒川保育園と同様に、民間活力を導入した運営体制の検討を進めます。

三依保育園については、近隣公共施設との複合化による整備を検討し、保育需要の動向を注視しながら、新制度による「地域型保育」として運営を行います。

### (4) 足尾地域

足尾認定こども園は、保育需要は低いものの他の保育施設と離れた地域にあります。

機能の存続が必要であることから、現状を維持し、長寿命化を図りながら、現状の施設で運営することとします。

### (5) 栗山地域

湯西川保育園は、保育需要は低いものの他の保育施設と離れた地域にあります。

新制度による「地域型保育」により、保育需要の動向を注視し、現状の施設において長寿命化を図りながら運営していくこととします。

平成 27 年度休園中の栗山中央保育園は老朽化による対応が必要な状況にあります。

現在計画中の（仮称）栗山庁舎との複合化による整備を行い、保育需要の動向により新制度による「地域型保育」として運営を行います。